

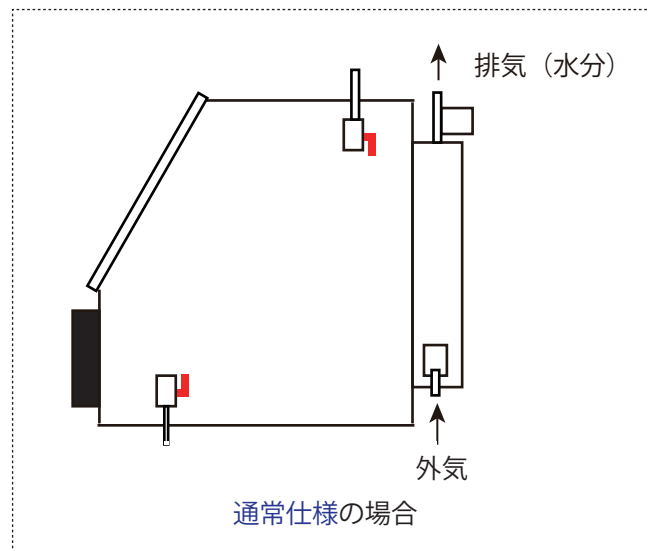
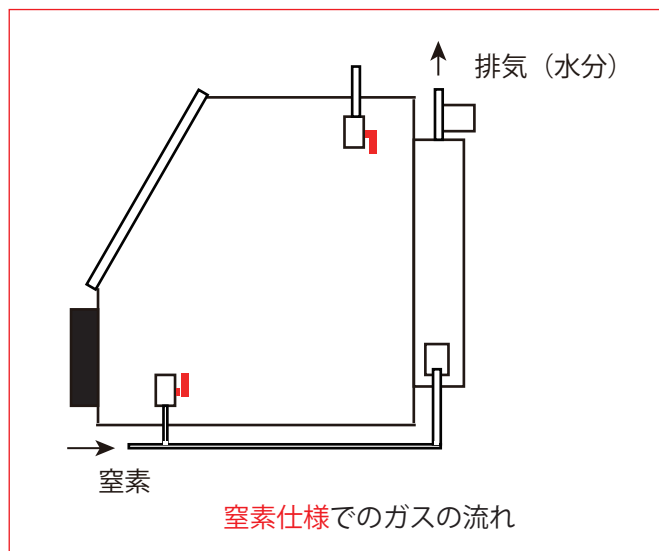
窒素仕様

酸素を嫌う作業には**窒素仕様**の **DRYCABI-GB** が適しています

脱水分装置の気密性を高めて窒素導入を可能にした仕様です。

乾燥剤再生中に外気が混入することを防ぐことができます。

(通常仕様では、外気中で乾燥剤再生を行います。)



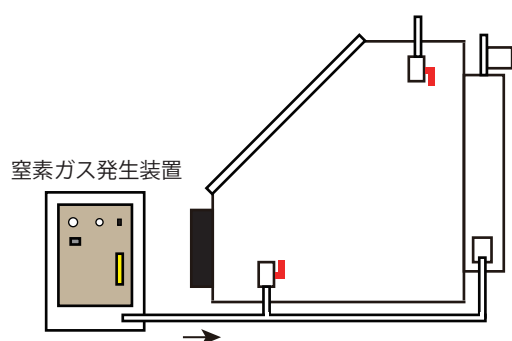
高気密性のカバーを脱水分装置に取り付けて、電磁弁を通して窒素を導入する仕組みです。

窒素中で乾燥剤の再生が可能となり、外気の混入がありません。



Eタイプ**窒素仕様**

ST タイプ (露点 -40℃以下)	窒素仕様
	通常仕様
E タイプ (露点 -20℃以下)	窒素仕様
	通常仕様
SE タイプ (湿度 10%RH 以下)	通常仕様



窒素ガス発生装置（オプション）を使用することでポンペなしでも窒素中での作業が可能です。

窒素仕様であってもダイアフラムポンプ等で空気（外気）を送り込むことで空気中での乾燥剤再生も可能です（窒素を使用しないと脱水分性能が出ないというわけではありません）。